

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 11日

事業所名 放課後等デイサービス ドリーム

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		薄線や利用者の特性を考慮した配置を行っている	指導訓練室は34平米あります。国の設備基準である児童一人当たり2.47㎡以上、集団活動が行えるよう、死角のない児童指導員の目が届く一つの空間で療育を行っております。
	2 職員の配置数は適切である	5			児童10人に対して児童発達支援管理責任者1名、児童指導員3名という国も人員配置基準の人員配置を常に行い、児童分野での経験と専門性の備えたスタッフを配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		施設が賃貸物件の為、出来る限りのバリアフリー対策を実施している	建物の構造上、玄関の入口以外はバリアフリー化していません。入口の改修は難しい状況です。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			各自、目標設定を行い現状はどうなのか?今後の取り組み、目標などを面談で話会うようにしています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			通所支援事業利用者の保護者向け評価表による評価の公表を実施し、意向を把握し、改善に努めております。今期のアンケート結果を周知し体制整備などを行ってまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			令和3年度よりホームページでも評価と公表を実施しています。保護者様にも会報にてお知らせさせていただきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		必要に応じ第三者委員による評価及び、指導を実施し改善に努めている	第三者の意見を参考に改善に努めています。今年度からは外部との交流を多く持ち、研修などを通して業務改善に繋げてまいります。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		毎月研修を開催している	研修だけで終わるのではなく、個々のスキルの上昇に繋げていく取組みも考えていきたいと思っております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		利用者全員にアセスメントツールを用いたモニタリングを実施し、変化があればその都度、支援計画内容の変更を行っている	児童発達管理者だけでなく、現場の職員にもしっかりと理解できるよう誰でも積極的に参加できる機会を早急に作ります。支援計画作成にあたっては、今まで通りケース会議、現状を話し合い、課題分析からの課題目標設定をしっかりと行ってまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		アセスメントの際に管理者との同席を行い記録を行っている	今期からは、新たなアセスメントツールに改善し、より細かなツールを使い状況把握に努めてまいります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		会議を開催し活動プログラムの内容を検討を行っている	5領域に合わせた取り組みを支援員で考え支援に繋げていきます。計画案については、各自提出するよう取り組んでいます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		季節や利用者の段階に沿った内容を取り入れている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		企画書を作成し、課題への取り組みを個々の発達段階に合わせて分けて取り組みを行っている。	活動プログラム同様、計画書の提出からの活動プログラム会議にて決定しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			保護者のニーズや利用者の発達に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			支援開始前にはミーティングを行い、支援員それぞれの役割を明確化し、支援課題の内容、目的など職員間で周知徹底をさせていただきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		支援前、時間がある際は支援後の振り返りを実施している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		日々ケース記録にて様子等を書き記している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		半年に一度の見直しを行っています。 ※必要がある場合にはモニタリングを実施し、計画の見直しを行うようにしています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5		活動内容の明確化と具現化した支援を実施している。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		開催される担当者会議には児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など適任者を選任して出席しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		学校との情報共有を行う為に、学校迎入時には担任の先生からの引継ぎ内容を聞くようにしております。学校行事等の会報もいただけるようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5		現在該当児童の在籍はありませんが、必要に応じて主治医の指示書をもとに、緊急時の搬送先などの保護者との取り決めを行い、連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		サービス担当者会議や各関係機関との情報交換を行っていききたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		必要時は、情報共有を行っていききたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		必要時には相談に伺い、その都度アドバイスを受けております。また機会があれば職員のスキルの向上の為に研修への参加をしていききたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		地域に夏祭りへの参加を通して交流がもてる機会を作っています。 地域交流のお声掛けも頂いておりますので、スポーツを通して交流を少しずつ深めていけたらと思います。また市町の夏祭りでは交流する機会が出来たと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		現在自立支援協議会への参加は行えていません。今後は参加が可能であれば是非参加をしたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間を設けています。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5		現在ベアトシの保護者向け研修は行っていませんが、面接や送迎時のフィードバックの際に対応などのアドバイスを少しずつ伝えるように心がけています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明を行っています。また、随時不明点は職員が、連絡帳や口頭などで説明を行うようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		送迎の際に子どもの状況や課題については無しにする機会を設けたり、希望に応じて相談を受け付けています。また定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		コロナ禍で自粛していたところはあるのですが、今年からは保護者の方が気軽に話せたりするような機会を作りたいと思います。現在は少しずつお声掛けをさせていただいております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情においては体制の整備を行うと共に、保護者様や各関係機関にも情報の共有を図る為、周知を行うようにしています。アンケート結果を真摯に受け止めて4月からの体制整備をしっかりと整えていききたいと思います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月の会報にて行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	5		個人情報記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また、日ごろから職員にも個人情報の取り扱いについては十分注意し、研修を行っています。また、雇用時には誓約書をお渡ししています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		言葉と共にマカトンやカードを使うなど伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者に合わせるようにしています。また、日々の引継ぎなどで、お子様の成長に合わせた意思伝達方法などを随時、保護者さんと共通理解出来るようにし支援に役立てています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		地域の方と共に市町の夏祭りに出店するなど参加しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		マニュアルについて職員会議にて周知を行い、研修の実施をしております。保護者様には周知・訓練について十分でない部分もある為、改善に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年に2回、児童を含めた非常災害の訓練を9月と3月に行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		社内研修を実施しております。また社内研修とは別に事例検討会などで職員の意識の向上に努めています。今後の課題としては外部研修などに積極的に参加していきたいと思っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		必要児の身体拘束に関しては利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性である事を条件に同行する職員に共通認識し、しっかりと周知するようにしています。また保護者にはそれらを必ず契約時には説明を行うようにしています。また個別支援計画にもその旨を記載し説明を行うようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		現在該当自動の登録はありませんが、必要に応じて服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めを保護者と行い、医師にも確認して対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		危険な事例があった際はヒヤリハットの報告書に記載し、それらを基に毎月事例検討会議を行い支援の改善に引き続き努めていきます。